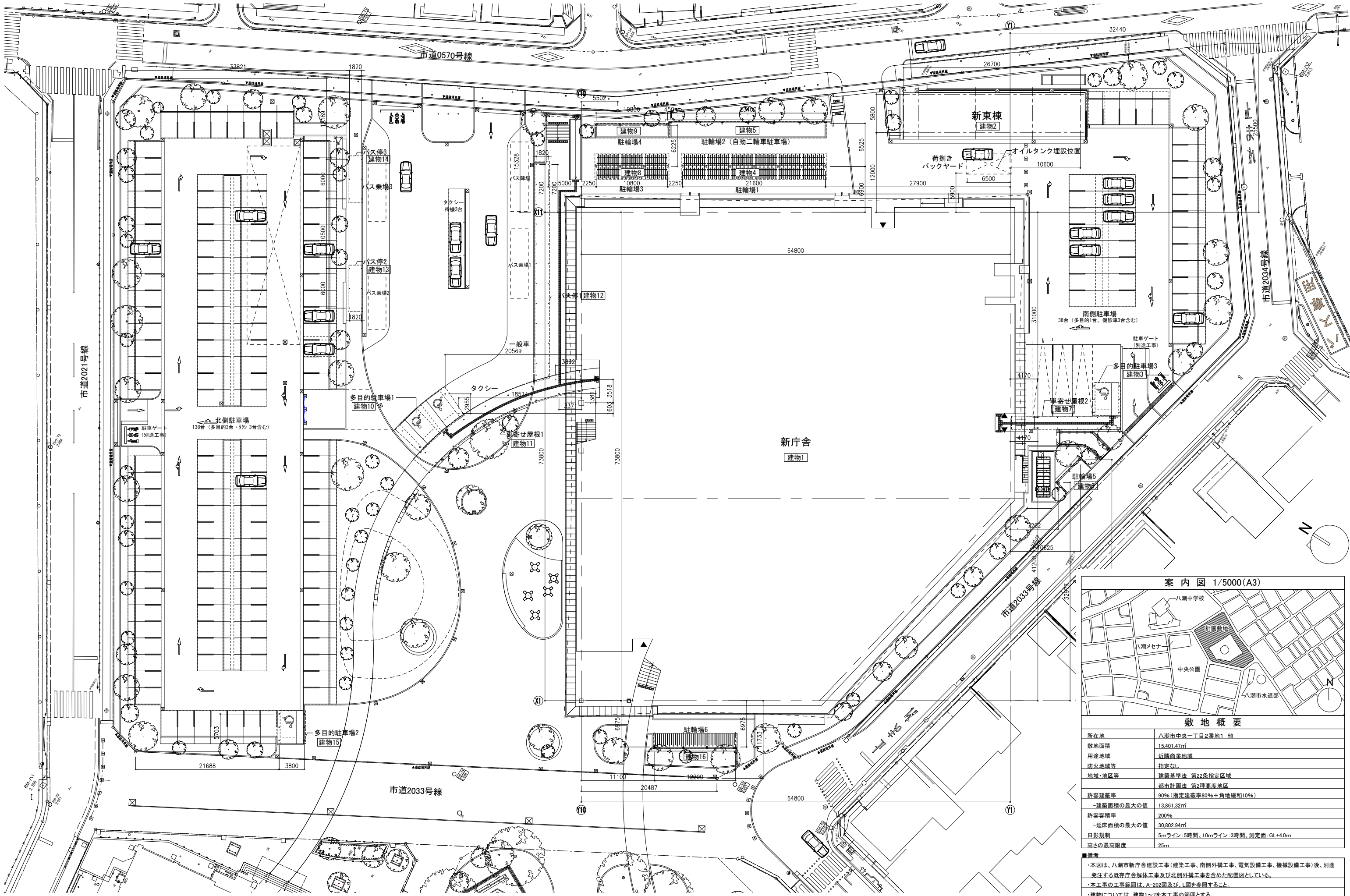


八潮市新庁舎建設工事(建築工事・南側外構工事)

令和3年5月



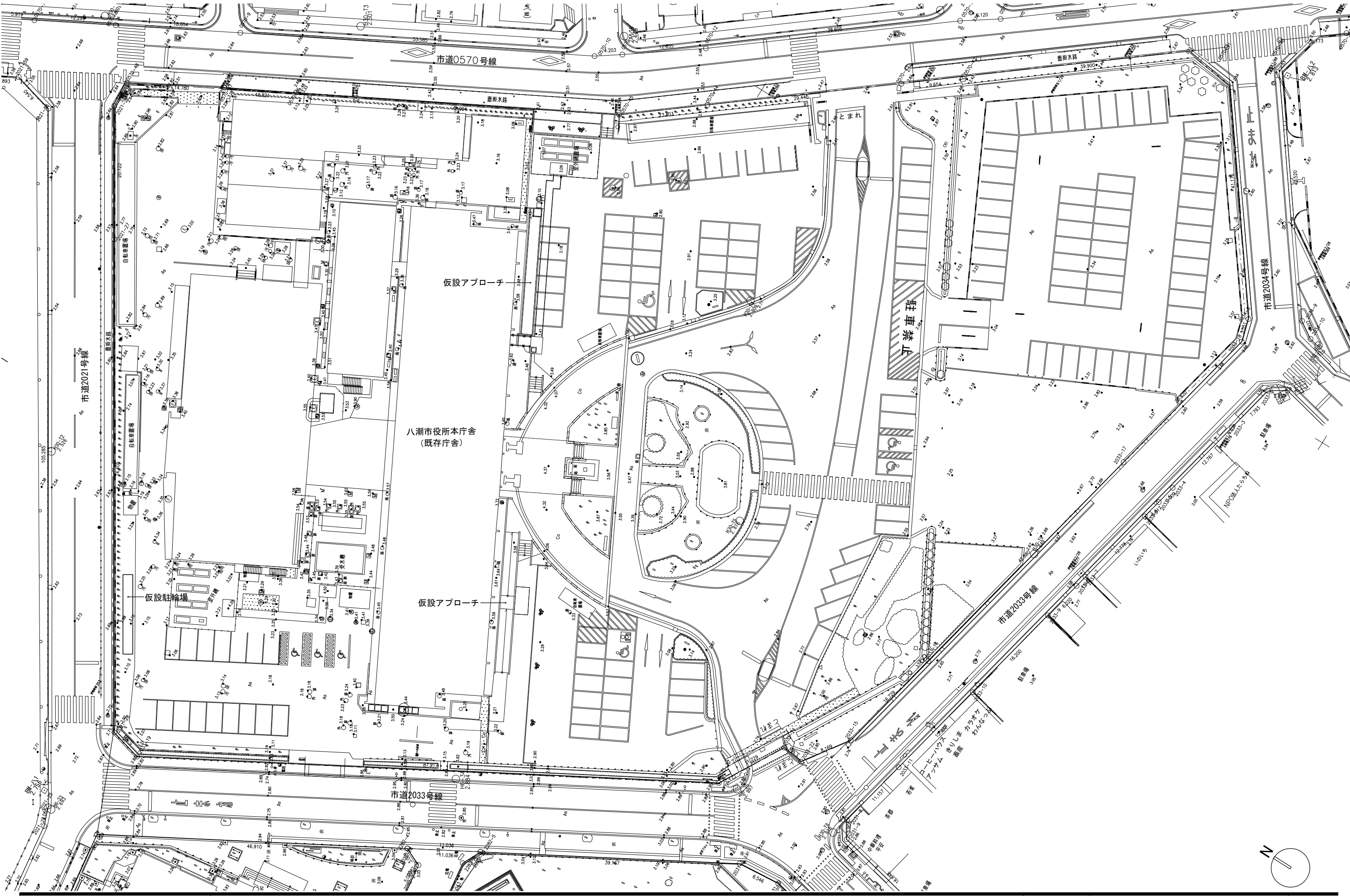
敷地概要

所在地	八潮市中央一丁目2番地1 他
敷地面積	15,401.47㎡
用途地域	近隣商業地域
防火地域等	指定なし
地域・地区等	建築基準法 第22条指定区域 都市計画法 第2種高度地区
許容建蔽率	90% (指定建蔽率80%+角地緩和10%)
- 建築面積の最大の値	13,861.32㎡
許容容積率	200%
- 延床面積の最大の値	30,802.94㎡
日影規制	5mライン: 5時間、10mライン: 3時間、測定面: GL+4.0m
高さの最高限度	25m

備考

- ・本図は、八潮市新庁舎建設工事（建築工事、南側外構工事、電気設備工事、機械設備工事）後、別途発注する既存庁舎解体工事及び北側外構工事を含めた配置図としている。
- ・本工事の工事範囲は、A-202図及び、L図を参照すること。
- ・建物については、建物1～7を本工事の範囲とする。

図面番号	2021.05
工事名称	八潮市新庁舎建設工事（建築工事・南側外構工事）
図面名称	案内図・配置図
縮尺	S=1/250 (A1) S=1/500 (A3)



履歴	日付	工事名称	図面番号
	2021.05	八潮市新庁舎建設工事（建築工事・南側外構工事）	A-010
		図面名称	編尺
		現況図	S=1/250 (A1) S=1/500 (A3)

注記)事項中の項目は※印または◎印の付いた項目(両方に印のある場合は◎を優先とする。)
及び仕様を適用し、「×」印又は「-」は適用しない。(項目:1、6、7、8、9、11、12、14)

1. 設計図書記入 共通事項

※ 床のレベルは平面図、平面詳細図による。
 ※ 屋外床のレベルは配置図、外構図による。
 ※ 異なる床の仕上げ及び壁の仕上げ区分は、平面図、平面詳細図による。
 ※ RD及び縦樋の位置は、平面図による。
 ※ 壁の種類は平面図、平面詳細図による。
 ※ 外壁の化粧目地・伸縮調整目地割付は、立面図による。
 ※ ガラスの種類・区分は建具表記記載事項とし、補足の分類は姿図による。
 ※ 構造スリット位置は、構造図による。
 ※ 告示771号特定天井及び耐震天井の仕様は本仕上表及び吊り天井の脱落対策仕様書による。

2. 主に使用される記号・略号

BM	ベンチマーク	H	高さ表示の頭記号	W	幅表示の頭記号
GL	基準地盤面(平均地盤面)	L	長さ表示の頭記号	S=1:*** 縮尺	
FL	基準床面(仕上げ面)	CH	天井高さ	D	奥行
SL	基準床躯体面(スラブ上面)	t	厚さ	r	半径
TP	東京湾中等潮位(参考資料内)	φ	直径	C	中心線
OP	大阪湾最低標準潮位	@	間隔		

3. 記号・略号の室名・材料名等

DS	ダクトスペース(ダクト配管を行う)	ELV	エレベーター	SGP	配管用亜鉛メッキ鋼管
AD	エアダクト(躯体ダクト)	DW	小荷物専用エレベーター	VP	硬質塩化ビニル管
EPS	電気配管スペース		(ダムウエーター)	STK	構造用鋼管
PS	パイプスペース	ESC	エスカレーター	FB	フラットバー
SMD	排煙ダクトスペース	UB	ユニットバス	S	スチール
Expj	エキスパンションジョイント	SK	掃除用流し	PL	プレート(鋼板)
PC	プレキャストコンクリート	RD	ルーフトレイン	SUS	ステンレススチール
CB	コンクリートブロック			AL	アルミニウム
ALC	軽量気泡コンクリートパネル			BR	真チユウ
ECP	押出成形セメント板				

4. 記号・略号の塗料名

SOP	合成樹脂調合ペイント	2-FUE	フッ素樹脂エナメル塗装
CL	クリヤカラー	UC	ウレタン樹脂ニス
FE	フタル酸樹脂エナメル	OS	オイルステイン
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料	WP	木材保護塗料
DP	耐候性塗料(旧 2-FUE)	FEB	フッ素樹脂焼付
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	AEB	アクリル樹脂エナメル焼付
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	FCC	フッ素樹脂カーキヤー(エスケー化研セラミコートF同等品)
EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	SCC	アクリルシロコンキヤー(エスケー化研セラミコートS同等品)
		VP	塩化樹脂エナメル

5. 記号・略号の下地名

M	モルタルコテ下地	LGS	軽量鉄骨壁下地
Mコテ	モルタル金コテ下地	CB	コンクリートブロック

コンクリート系は下記7の記載事項による

6. 型枠の加工及び組立(6.8.4)

a. コーンの穴埋め

- 面合せ仕上げ(意匠図による)
- ※ 面うち仕上げ

b. 躯体の増打ち

- ◎ 打放しコンクリート仕上げ面 ※ 20
- ◎ 塗装仕上げ面 ※ 20
- ◎ 仕上げ面 ※ 20
- ◎ タイル張り面(外壁) ※ 0
- ◎ モルタル塗面 ※ 0
- ◎ 外壁内側(見え隠れ部とも) ※ 10
- ◎ ボード等による仕上げ面(内壁) ※ 0
- ◎ 内装壁紙直張り下地 ※ 10
- ◎ 基礎、基礎梁等 ※ 0

9. 構造体コンクリートの仕上り(6.2.5)

b. コンクリート表面の仕上り状態

※ C塗装	打放し仕上げA種:化粧打ち放し又は塗装仕上げ面、せき板	※ 表面加工品	・ B-C品	※ 丸セパB型	※ 既製モルタルコーン	・ モルタル充填
壁紙張り面						
※ C化粧	打放し仕上げB種:仕上げ塗り面	せき板	※ B-C品	・	※ 丸セパB型	※ 既製モルタルコーン
※ C打放	打放し仕上げC種:タイル張り面、モルタル塗面	せき板	※ B-C品	・	※ 丸セパB型	※ 既製モルタルコーン
EVピット内面						
※ C打放	打放し仕上げC種:防水下地、基礎部水槽内面、	せき板	※ B-C品	・	※ 丸セパB型	※ 既製モルタルコーン
※ Cママ	その他打放しのみ	せき板	※ B-C品	・	※ 丸セパC型	防錆塗装
※ C	コンクリート木コテ押え					
※ Cコテ	コンクリート金コテ押え:機械ゴてを用いる場合も、必ず最終仕上げは金ゴてで行うこと。					
c. コンクリートの仕上りの平たんさ	・ 特記仕様書	※ 標準仕様書				

10. 外壁伸縮調整目地(ひび割れ誘発目地)の設定

※誘発目地部分の欠損率は実壁厚tに対して、20%以上を確保すること。

壁記号	W16	W18	W20	W25
躯体厚さ	160	180	200	250
必要欠損深さ	38	42	46	56
屋外増打ち	20	20	20	20
屋外目地深さ	20	20	20	20
屋内増打ち	10	10	10	10
屋内目地深さ	10	10	10	10
不足分の欠損対応	右図	右図	右図	右図

12. 内装軽量鉄骨天井下地及び壁下地の脱落防止及び耐震安全性

【天井仕様の分類】

A) 天井: 標準仕様書に規定する仕様とし、JIS規格品を使用する。
 ×B) 耐震天井: 下記特定天井以外でも、図中に指定する天井で、告示771号に基づく仕様とするもの。
 ×C) 特定天井: 告示771号による天井とし、別紙「吊り天井の脱落対策仕様書」に基づく仕様とする。

(A)天井仕様の注意事項

- ・天井内に設置する設備機器及び配管・配線等と天井下地材との大地震動時の干渉(衝突)を無くす。
- ・天井下地が設備機器等の影響で、所定のピッチに吊ることが出来ない場合は監督員の指示による。

【軽鉄壁下地の仕様】

使用材料 ※ JIS規格品 無指定

- ・間仕切壁は原則5m以下での床版下と床版に架かる構造とし、標準仕様書に規定する仕様とする。
- ※ 65型スタッド: 高さ4.0m以下
- ※ 90型スタッド: 高さ4.0mを超え4.5m以下
- ※ 100型スタッド: 高さ4.5mを超え5.0m以下
- ※ 5.0m以上の部分には、主要構造部と同等の下がり壁等(図示)を設ける。
- ※ 壁を貫通する設備配管等は、地震動時に壁に加力を与えない構造とする。

・主に小部屋等簡易に設置する間仕切りは、床版と天井下地に標準仕様書に規定する仕様とする。
 ※ 当該間仕切り設置部分の天井下地には、補強の為に斜め材(図示)を設置する。
 ※ 設置範囲は平面図による。

・ランナー材とスタッドの取付は、標準仕様書及び建築工事監理指針に規定する仕様とする。
 建築工事監理指針に規定する上部ランナーとスタッド天端の隙間は10mm以下とする。

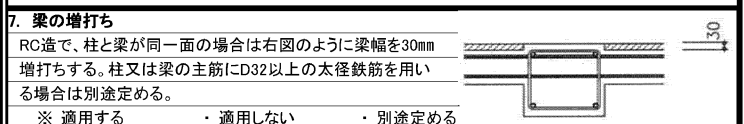
7. 梁の増打ち

RC造で、柱と梁が同一面の場合には右図のように梁幅を30mm増打ちする。柱又は梁の主筋にD32以上の太径鉄筋を用いる場合は別途定める。

※ 適用する ・ 適用しない ・ 別途定める

8. 鉄筋のかぶり厚さ(5.3.5)

c. 鉄筋のかぶり厚さは構造図による。
 d. コンクリート増打ち厚さは、かぶり厚さに算入しない。



11. 構造スリット部分の仕上り取合い(変形追従性)

【壁取合い】

- ・鉄筋コンクリート壁の構造スリットが内装材の下地になる部分の内装仕様は下記による。
- ※ LGSを用い、構造スリットによる層間変位の影響がない仕様とする。

【建具取合い】

- ・構造スリットがアルミ製建具枠に取合う部分では、特記仕様書及び建具特記の記載事項による。
- ・構造スリットが鋼製及び軽量鋼製建具、シャッター枠等に取合う部分の仕様は、下記による。
- ※ 自立可能なRC壁(W=構造図)を挟み、構造スリットに直接枠が接しない仕様とする。
- ・構造スリットが建具枠に取合う部分では、枠のアンカーを無くし、所定の性能確保に必要な枠廻り補強を行う。
- ※ 構造スリットが建具枠に取合う部分では、サッシ自体の層間変位追従による対策とする。

13. 防火材料一覧表

・せっこうボード t9.5(GB-R t9.5)	QM-9828	・繊維混入石膏板	NM-2967
・せっこうボード t12.5(GB-R t12.5)	NM-8619		
・不燃積層せっこうボード t9.5 (GB-NC)	NM-0441	・繊維強化セメント板	NM-8576
		・ケイ酸カルシウム板	NM-8578
・普通硬質せっこうボード t9.5 (GB-R-H)	NM-1908	・岩綿吸音板(DR)	NM-8599
		・塗料(塗料塗装/不燃材料)	NM-8585
・シーリングせっこうボード t12.5 (GB-S)	NM-9639	・複層模様吹付材	QM-9812
・不燃シーリングせっこうボード t12.5 (不GB-S)	NM-9639	・複層模様吹付材(不燃)	NM-8572
		・ロックウール吹付(RW)	NM-8601
・繊維強化せっこうボード(GB-F)	NM-8615	・グラスウール(GW)	NM-8605
・化粧せっこうボード(GB-D)	NM-1864	・木毛セメント板	QM-9701
・不燃化粧せっこうボード(不GB-D)	NM-1864	・木毛バライトセメント板(不燃)	NM-0234~0237
・不燃化粧せっこうボード(不GB-DW)	NM-0127	・ビニルクロス	不燃認定品
		※ 壁装材料の認定番号は指定メーカーによる	

14. 耐火及び遮音材料等指定リスト ※認定番号は参考とする

【間仕切壁:1時間耐火(非耐力)】

- ・ GB-F t12.5(下張)+GB-F t12.5(上張) 両面 FP060NP-0174
- ・ GB-F t21(下張)+GB-F t21(上張) 片面 FP060NP-0007
- ・ GB-F t21(下張)+GB-R t9.5(上張) 両面 GW充填 FP060NP-0198

×【外壁:1時間耐火(非耐力)】

- ・
- ・

【屋根:30分耐火】

- ・ 図示による

【耐火被覆】

a. 種別及び使用箇所

1) 耐火材吹付け	イ) 材料	※ ロックウール吹付け	・ セラミック系
	ロ) 工法	・ 乾式	※ 半乾式
	ハ) 仕上り形状	・ 吹放し仕上	※ コテ押え仕上
	ニ) 色	※ 原色	・ 着色
	ホ) 使用箇所	・ 鉄骨柱、梁	
	ヘ) 厚み	・ 25mm(1時間耐火)	
2) 耐火板張り	イ) 材料及び工法	・ けい酸カルシウム板耐火被覆材	
	ロ) 使用箇所	・ 図示による	
	ハ) 厚み	・ 20mm(1時間耐火)	
		デッキとの取合い部は、耐火シールとする	
3) 耐火塗料	イ) 材料及び工法	・ SKタイカコート	塗装仕上
	ロ) 使用箇所	・ 図示による	

16. 特記事項

注記)下記事項は、図中記載がなくともすべて本工事に適用する。

【躯体工事】

- ・床下防湿層はt0.15mmポリエチレンフィルムとし、適用箇所は図示による。
- ・特記無きコンクリート打放は、外壁増打 t20、内壁 t10とし、表面のケリ及びモルタル補修を行う。また型枠緊結金物はコン状とし、既製セメント系充填用コーンを充填する。
- ・C塗装の打放部分の見えがかり出隅はピン角とする。
- ・防水押えのコンクリートには、溶接金網φ6.0-100×100を打込む。
- ・梁にかかる床見切・査摺金物等を取付る場合には、図中指示が無くとも建具特記に示すフラットバーを用いた見切りまたは査摺とする。
- ・梁にかかるフロアヒンジがある場合は、監督員と協議の上適切な代替措置を採用する。
- ・RC片持ちスラブバルコニー、手摺壁等には、図中記載がなくとも伸縮調整目地を3m間隔以内で適切に設ける。

【防水工事】

- ・屋外において異なる材料の取合部分及びジョイント部分には、すべてシーリング(仕様書9.6.2)を充填する。
- ・構造スリットの目地は、外壁面側及び内壁側の両面にシーリングを施工する。

【金属工事】

- ・屋外の鋼製部分は特記無き限り溶融亜鉛メッキの上指定の仕上を行うものとする。
- ・異なる床仕上材の取合い部分には、ステンレス目地棒を取付ける。
- ・異なる金属が取合う部分で電食の恐れがある場合は、防食処理を行う。

【左官工事】

- ・GB及びALC下地のモルタル塗はコンクリート下地モルタル塗との取合部分にt10の隠し目地を設ける。隠し目地は、シーリング材充填の上無収縮モルタルにて平滑に仕上げる。
- ・CB等、亀裂の発生が予想される部分に、亀裂防止用ガラスクロス等の張換を行う。

【塗装工事】

- ・壁面、天井面の塗装は特記無き限りローラー仕上とする。但しロックウール化粧吸音板に塗装を行う場合はシーラー処理の上吹付塗装とする。
- ・フリースプロア(〇A70F、乾式二重床を含む)下のコンクリート床面には防塵塗料を行う。(断熱部分含む)

【内装工事】

- ・遮音が必要な間仕切りは、下地及びボードをスラブ又は梁下端まで立上げ、躯体等取合部は気密を目的としたシーリング(PU-2)を行う。
- ・遮音が必要な間仕切りに設ける設備類の貫通部処理は壁同等の所要性能を確保(機械・電気設備工事)する。
- ・塗装下地のせっこうボードの下地処理は、継目処理工法とする。(折上げ天井、下がり壁共)
- ・せっこうボード張りの出隅コーナー部分は、標準仕様書に示すコーナー保護金物を用いた補強を行う。
- ・床のビニルタイル、ビニルシート、ゴムタイル等はノックス品とする。

・内装材料は、法的制限が無い場合においても、特記無き限り防火材料一覧表に指定されたものを使用する。

- ・異種材料が同一平面で仕上がる場合には伸縮調整目地を設ける。(壁:石膏ボード面と左官面等)
- ・上目地は特記が無い場合でも、床はステンレス目地棒(金属工事)とし、壁・天井は塩ビ目地棒を使用するものとする。
- ・ALC下地へのせっこうボード等GL工法は行わない。
- ・せっこうボードのGL工法は高さ3mまでとする。それを超える場合は全てLGS下地を用いる。
- ・異なる下地にGL工法による同一仕上りする場合に、下地区分に応じて伸縮調整目地を設ける事。
- ・CH=2700以下の場合、壁面の石膏ボードは3×8又は3×9の1枚物を使用し、水平ジョイントは設けけない。
- ・CH=2700を超える場合、水平ジョイントは位置・仕様を監督員と協議をすること。
- ・内部壁仕上に於て、RC下地砂壁状吹付等と記入されている場合でも、断熱材のある部分はt12.5せっこうボードGLの上全面寒冷沙張とする。

・内装材料は、F-☆☆☆☆ものを使用する。

- ・原則として外部に面するスラブ及び壁、梁型には断熱材を施す。(図示による)
- ・1階化粧コンクリートロックに隠蔽される壁コンクリート面には、断熱材として、ポリスチレンフォームt50を打込むこと。
- ・その他は、屋内側に吹付硬質ウレタンフォーム断熱材(不燃・ノンフロ)t50を吹付けること。
- ・1階床については、下部免震層側に断熱材として、ポリスチレンフォームt70を打込むこと。
- ・ただし、新東棟防火水槽の1階スラブ面については、ポリスチレンフォームt25打込みとする。
- ・2階屋外に面するスラブには、1階屋内側に断熱材として、ポリスチレンフォームt70を打込むこと。
- ・3階屋外に面するスラブには、2階屋内側に断熱材として、吹付硬質ウレタンフォーム断熱材(不燃・ノンフロ)t70を吹付けること。

・排煙告示および内装制限により不燃が求められる室は、仕上げ下地共に不燃材料とする。

【その他】

- ・遮音が必要とされる間仕切により区画した部屋では、完成検査前に要求される性能がある事を受注者が確認し監督員に報告する。
- ・防火戸(随時閉鎖式)の天井横には、防火戸上枠からスラブまで特記なき限りGB-F t12.5(下張)+GB-F t12.5(上張) 両面の耐火間仕切壁を設けること。
- ・カーテン、じゅうたん等は防災物品とする。
- ・採光無窓の居室は、間仕切壁を天井裏(上階スラブ)まで達すること。
- ・耐風梁を受けるためだけの間柱・ブレース・座屈止め・方杖・耐風梁・開口補強材は、耐火被覆不要とする。
- ・ELVがたない及び耐火被覆が露出する部分はセメントスライ吹付とする。

内部仕上表(2)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項(1) ②:告示1436号 第4項(2)		③:告示1436号 第4項(3) ④:告示1436号 第4項(4)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント番号を示す。				
階	室名	法規制等	床 レベル 下地	仕上	巾木	壁 下地	仕上	廻縁	天井 下地	仕上	天井高	備考
1	風除室3	—	0 (F17)	防水Mの上靴拭マット	SUS 60	(W3)	C塗装の上SCC	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	自動ドア安全柵
1	廊下1-3、1-4、1-5	①	0 -50	(F4) Cコテの上 C研磨仕上	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	
1	倉庫1-1(乾燥室)	②	0 -10	(F4) Cコテの上 防滑性ビニル床シート	床材立上 100	(W3)	C塗装の上SCC	PVC	(C13)	ケイ酸カルシウム板EP-G	2.600	
1	清掃員控室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	流し台W1200
1	ELVホール1-2	①	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	
1	倉庫1-2(外部用)	②	0 -10	(F3) Cコテの上 防塵塗床	PVC 60	(W13)	フレキシブルボードEP-G 一部C塗装の上SCC	—	(C1)	直天井		
1	消火ポンプ室	②	0 -10	(F3) Cコテの上 防塵塗床	—	(W3)	C塗装の上SCC	—	(C1)	直天井		機械基礎
1	雨水ろ過機械室	②	0 -10	(F3) Cコテの上 防塵塗床	床材立上 150	(W4)	GWボード木タタ留め	—	(C1)	直天井		機械基礎
1	風除室H1、H2	—	0 -50	(F17) 防水Mの上靴拭マット	—	(W3)	C塗装の上SCC	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	自動ドア安全柵
1	待合H1-1		0 -30	(F6) フローリングA張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	
1	検診室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	移動間仕切
1	消毒室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP-G	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	二層式シンク(機械設備工事)
1	洗濯室	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W7)	耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8)	石膏ボードEP	2.600	洗濯パン、物干し SKライニング SK(機械設備工事)
1	廊下H1-1	①	0 -30	(F6) フローリングA張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	
1	相談室H1-1、H1-2	④	0 -10	(F5) Cコテの上 タイルカーベットA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	
1	執務室1-E		0 -100	(F9) OA707A H=100の上 タイルカーベットA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	窓口カウンター
1	書庫H1-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	
1	所長室兼応接室	④	0 -100	(F9) OA707A H=100の上 タイルカーベットB	木 60	(W9)	天然木練付板	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	
1	倉庫H1-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	カーテンレール
1	待合H1-2	④	0 -30	(F6) フローリングA張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 一部C塗装の上SCC	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	
1	事務室・調剤室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	窓口 洗面器ライニング 洗面器(機械設備工事)
1	休憩室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	流し台W1200
1	診察室1-1・2、救命室、廊下H1-2	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	カーテンレール 鏡、洗面カウンター
1	外部通路1.2	図示	(F18)	アスファルト防水の上 コンクリートショットプラスト仕上げ	—	(W3)	C塗装の上SCC	PVC	(C13)	ケイ酸カルシウム板の上 内装薄塗材E	2.600	立上り:アスファルト防水H=200mm
1	医局室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	2.600	流しW900
1	ロッカー室	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	
1	検査室1-1	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	SUS 60	(W8)	化粧ケイ酸カルシウム板	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	バスボックス 汚物流しライニング 汚物流し(機械設備工事)

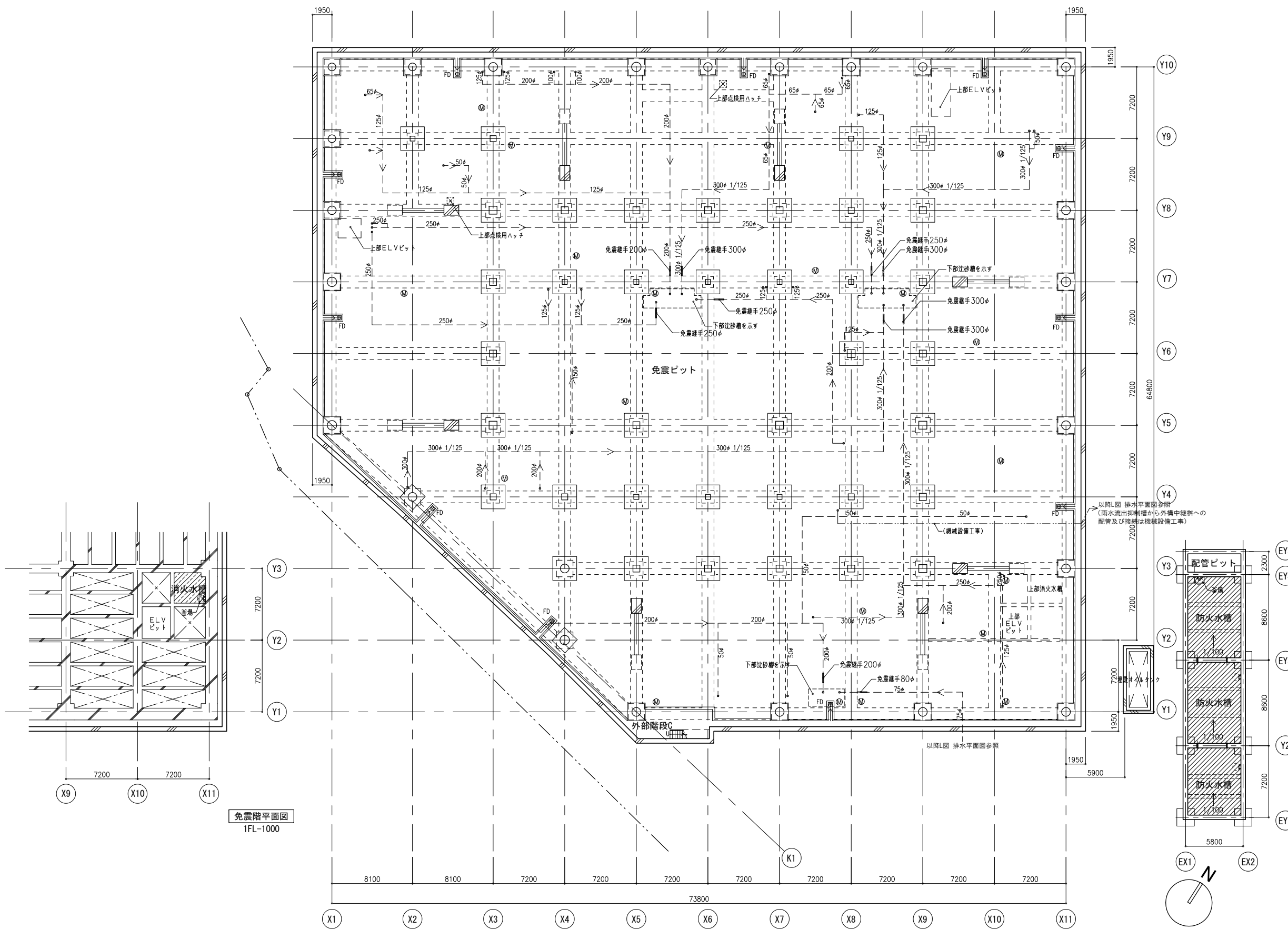
内部仕上表(3)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項(1) ②:告示1436号 第4項(2)		③:告示1436号 第4項(3) ④:告示1436号 第4項(4)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント番号を示す。				
階	室名	法規制等	床 レベル 下地	仕上	巾木	壁 下地	仕上	廻縁	天井 下地	仕上	天井高	備考
1	倉庫H1-2	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.600	
2	ELVホール2-1		0 -70	(F12) M下地の上 コンクリート平板敷き	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	
2	相談室2-1	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	
2	廊下2-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C8)	石膏ボードEP	3.000	
2	待合2-1、ラウンジ2-1		0 -70	(F12) M下地の上 コンクリート平板敷き	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	ベンチシート
2	執務室2-A		0 -100	(F9) OA707A H=100の上 タイルカーベットA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C6)	デッキスラップ現しの上SOP (C9) 一部岩綿吸音板	4.750	窓口カウンター ペリカウスター リフレッシュカウンター
2	相談室2-2、2-3	④	0 -100	(F9) OA707A H=100の上 タイルカーベットA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C6)	デッキスラップ現しの上SOP (C9) 一部岩綿吸音板	3.950	
2	事務室兼相談室2-A、2-B、相談室	④	0 -100	(F9) OA707A H=100の上 タイルカーベットA (F9) 2-Aはビニル床タイルB	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	
2	キッズスペース	④	0 -300	(F11) 乾式二重床H=300の上 コルクタイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP 有孔内装用OSB OS (FL+1200マテ)	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井 スラップ下GWボード木タタ留め	2.800	ホールプール(床仕上げは室と同じ) 立上り:合板t12の上コルクタイル張り
2	物置	②	0 -300	(F11) 乾式二重床H=300の上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	2.500	
2	廊下2-2、2-3、ELVホール2-2	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C8)	石膏ボードEP	3.000	
2	倉庫2-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.000	
2	サーバー室、電源室	②	0 -250	(F9) OA707B H=250の上 ビニル床タイルB	PVC 150	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.000	
2	システム室	④	0 -250	(F9) OA707B H=250の上 ビニル床タイルB	PVC 150	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	
2	ラウンジH2-1、廊下H2-1		0 -70	(F12) M下地の上 コンクリート平板敷き	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	
2	前室H2-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C8)	石膏ボードEP	3.000	
2	栄養指導室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	調理台 鏡、洗面カウンター
2	準備室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.000	鏡、洗面カウンター
2	指導室		0 -10	(F4) Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井 スラップ下GWボード木タタ留め	3.800	移動間仕切
2	指導室倉庫	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.950	SKライニング SK(機械設備工事)
2	倉庫H2-1	②	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.000	
2	検査室2-1、2-2、2-3	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	カーテンレール(検査室2-3)
2	診察室2-1、計測室、問診室	④	0 -10	(F4) Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	洗面カウンター カーテンレール
2	廊下H2-2~4	②	0 -30	(F6) フローリングA張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C9)	岩綿吸音板	3.000	
2	多目的室(軽体操室)		0 -300	(F10) 乾式二重床H=300の上 フローリングB張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	下足棚、鏡、カーテンレール 手摺、ベンチ
2	用具庫	②	0 -300	(F11) 乾式二重床H=300の上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	PVC	(C7)	化粧石膏ボード	3.000	
2	食堂		0 -300	(F10) 乾式二重床H=300の上 フローリングB張り	PVC 60	(W6)	石膏ボードEP	アルミ	(C5)	アルミ製格子天井	3.950	配膳カウンター、返却口 壁掛洗面器(機械設備工事) カウンター

内部仕上表(4)		※法規制等の凡例は以下の通り 不: 令112条 第9項 第1号等 一: 令126条の2 第1項 第1号		三: 令126条の2 第1項 第3号 ①: 告示1436号 第4項ニ(1) ②: 告示1436号 第4項ニ(2)		③: 告示1436号 第4項ニ(3) ④: 告示1436号 第4項ニ(4)		※レベル欄: 上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント図番号を示す。			
階	室名	法規制等	レベル	下地	床 仕上	巾木	壁 仕上	廻縁	天井 仕上	天井高	備考
2	厨房	④	0 -300	(F8) F8	アスファルト防水の上 嵩上げコンクリートの上 防滑性ビニル床シート	床材立上 150	(W8) W8	化粧ケイ酸カルシウム板 H=1000までSUS	PVC	(C13) C13	ケイ酸カルシウム板EP-G 洗面器(機械設備工事)
2	倉庫2-2(外部用)	②	0 -10	(F3) F3	Cコテの上 防塵塗床	PVC 60	(W13) W13	フレキシブルボードEP-G	-	(C1) C1	直天井
3	ELVホール3-1		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	-	(C6) C6	デッキスラブ現しの上SOP
3	執務室3-A、3-B		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C6	デッキスラブ現しの上SOP 一部岩綿吸音板 窓口カウンター リフレッシュカウンター
3	相談室3-1	④	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	倉庫3-1	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
3	待合3-1、3-2、3-3		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C8	デッキスラブ現しの上SOP 一部石膏ボードEP
3	市民相談室、相談室前室	④	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	アルミ	(C5) C5	アルミ製格子天井
3	廊下3-1		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP
3	ラウンジ3-1、3-2		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C8	デッキスラブ現しの上SOP 一部石膏ボードEP
3	会議室3-1、3-2		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	アルミ	(C5) C5	アルミ製格子天井
3	防災行政無線		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	廊下3-2、ELVホール3-2	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP
3	測定室	④	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード 洗面器(機械設備工事)
3	会議室3-3	④	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
3	執務室3-C		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C9	デッキスラブ現しの上SOP 一部岩綿吸音板 窓口カウンター リフレッシュカウンター
3	作業室	④	0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	書庫3-1	②	0 -35	(F2) F2	Mコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	-	(C1) C1	直天井 集密移動棚(別途工事)
3	会議室3-4		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	アルミ	(C5) C4	アルミ製格子天井 スラブ下GWボードホリ留め スクリーンボックス
3	倉庫3-2	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
3	廊下3-3		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C8	デッキスラブ現しの上SOP 一部石膏ボードEP
3	厚生室1	④	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	厚生室2		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 流し台W1500
3	廊下3-4、3-5		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP
3	仮眠室(男)、(女)	④	180 -10	(F16) F16	Cコテの上 木床組の上畳敷き	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード 鏡、洗面カウンター
3	脱衣室1,2,3	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床シート	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP-G	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード ユニットシャワー
3	大会議室		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 移動間仕切

内部仕上表(5)		※法規制等の凡例は以下の通り 不: 令112条 第9項 第1号等 一: 令126条の2 第1項 第1号		三: 令126条の2 第1項 第3号 ①: 告示1436号 第4項ニ(1) ②: 告示1436号 第4項ニ(2)		③: 告示1436号 第4項ニ(3) ④: 告示1436号 第4項ニ(4)		※レベル欄: 上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント図番号を示す。			
階	室名	法規制等	レベル	下地	床 仕上	巾木	壁 仕上	廻縁	天井 仕上	天井高	備考
3	倉庫3-3、3-4	②	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
3	庁議室		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットB	木 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	待合室	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	ラウンジ、廊下3-6	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 カーペット敷き	木 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 ビクチャーレール
3	レクチャー室	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
3	市長室	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 カーペット敷き	木 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 壁面収納 ビクチャーレール
3	副市長室	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 カーペット敷き	木 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 壁面収納 ビクチャーレール
3	応接室	④	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 カーペット敷き	木 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 壁面収納 ビクチャーレール
3	給湯室3-2	②	0 -100	(F24) F24	嵩上げコンクリートの上 ビニル床シート	PVC 60	(W7) W7	耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP 流し台W1200
3	倉庫3-5	②	0 -100	(F24) F24	嵩上げコンクリートの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
4	ELVホール4-1		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	-	(C6) C6	デッキスラブ現しの上SOP
4	廊下4-1		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP
4	待合4-1		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C8	デッキスラブ現しの上SOP 一部石膏ボードEP
4	執務室4-A		0 (-140) -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C9	デッキスラブ現しの上SOP 一部岩綿吸音板 窓口カウンター リフレッシュカウンター
4	相談室4-1		0 (-140) -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
4	教育長室		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットB	PVC 60	(W9) W9	天然木継付板	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 壁面収納 ビクチャーレール
4	ラウンジ4-1、4-2		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C6) C8	デッキスラブ現しの上SOP 一部石膏ボードEP
4	相談室4-2		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C6	岩綿吸音板 一部デッキスラブ現しの上SOP
4	会議室4-2	④	0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	アルミ	(C5) C4	アルミ製格子天井 スラブ下GWボードホリ留め
4	会議室4-3		0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
4	廊下4-2、ELVホール4-2	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C8) C8	石膏ボードEP
4	執務室4-B、電話交換室	④	0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板
4	電話交換機械室	②	0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
4	倉庫4-1	②	0 -100	(F11) F11	乾式二重床H=100の上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C7) C7	化粧石膏ボード
4	倉庫4-2	②	0 -10	(F4) F4	Cコテの上 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	-	(C1) C1	直天井
4	電気室	①	0 -10	(F3) F3	Cコテの上 防塵塗床	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP-G ALCシーラー処理の上EP-G	-	(C4) C4	GWボードホリ留め 機械基礎
4	執務室4-C		0 -100	(F9) F9	OA707A H=100の上 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) W6	石膏ボードEP	PVC	(C9) C9	岩綿吸音板 移動間仕切壁

内部仕上表(6)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項二(1) ②:告示1436号 第4項二(2)		③:告示1436号 第4項二(3) ④:告示1436号 第4項二(4)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント図番号を示す。	
階	室名	法規制等	床 レベル 下地 仕上	巾木	壁 下地 仕上	廻縁	天井 下地 仕上	天井高	備考
4	議員控室5.6、相談室4-4		0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットB	PVC 60	天然木練付板	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,700	移動間仕切壁
4	廊下4-3	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C8) 石膏ボードEP	2,700	ベンチシート
4	議員控室1~4、相談室4-3		0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットB	木 60	天然木練付板	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,700	移動間仕切壁
4	倉庫4-3	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床タイルA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,700	
4	ラウンジ4-3、廊下4-4		0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットB	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C8) 石膏ボードEP	2,850	
4	廊下4-5		0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットB	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C8) 石膏ボードEP	2,850	
4	廊下4-6		0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットB	壁同材 60	(W6) 内装薄塗材E	PVC	(C8) 石膏ボードEP	2,850	
4	議場、傍聴席		0~600 (F12) 乾式二重床の上 -100 カーペット敷き	木 60	(W9) 天然木練付板 (W14) 人工木目透し張りEP サランネットの上GW充填	PVC	(C10) エフジーボードEP (C13) GW敷き込み	5,400	議場家具、手摺 CHは平均天井高さを示す
4	親子傍聴席	④	900~1100 図示 木床組の上 -100 カーペット敷き	木塗装 60	(W11) 有孔ケイ酸カルシウム板EP (W10) サランネットの上GW充填 腰部ケイ酸カルシウム板EP-G	PVC	(C9) 岩綿吸音板 (C13) GW敷き込み	2,300	ベンチ
4	控室	④	0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットB	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,700	
4	傍聴ロビー		0 (F6) フローリングA張り -30	木塗装 60	(W9) 天然木練付板 (W14) 人工木目透し張りEP サランネットの上GW充填	PVC	(C10) エフジーボードEP	5,560	CHは平均天井高さを示す
4	廊下4-7		0 (F4) Cコテの上 -10 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C6) テックスラフ現しのSOP	3,650	
4	正副議長室	④	0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットB	木 60	(W9) 天然木練付板	PVC	(C9) 岩綿吸音板 (C6) 一部テックスラフ現しのSOP	3,050	
4	委員会室1,2		0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板 (C6) 一部テックスラフ現しのSOP	3,050	移動間仕切
4	議会図書室、議会書庫		0 (F4) Cコテの上 -10 ゴム床タイル	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	3,050	
4	会議室4-1	④	0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板 (C6) 一部テックスラフ現しのSOP	3,050	
4	議会事務局	④	0 (F9) OA707A H=100の上 -100 タイルカーペットA (F24) 一部ビニル床シート	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板 (C6) 一部テックスラフ現しのSOP	3,050	給湯コーナー、流し台W900 窓口
PH	ELVホールPH-1		0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP		(C7) 化粧石膏ボード	2,700	
共通	MWC・FWC	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	SUS 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8) 石膏ボードEP	図示	鏡、手摺、トイレブース ベビーチェア、汚垂石 洗面カウンター(機械設備工事)
共通	HCWC	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	SUS 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8) 石膏ボードEP	図示	ユニバーサルシート フィッティングボード
共通	LGBT WC	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	SUS 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8) 石膏ボードEP	図示	鏡、フィッティングボード 洗面カウンター
共通	SK	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP-G	PVC	化粧石膏ボード	図示	パイプ棚、モップ掛
共通	給湯室	④	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C8) 石膏ボードEP	図示	流し台W図示
共通	授乳室	④	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	SUS 60	(W6) 石膏ボードEP-G	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	図示	流し台W図示 カーテンレール おむつ交換台 その他図示
共通	階段室A~C	三	(F2) Mコテの上 ゴム床タイル	-	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C8) 石膏ボードEP		
共通	階段D	三	(F2) Mコテの上 フローリングB張り	-	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C8) 石膏ボードEP		
共通	PS、DS	②	0 (F3) 防塵塗床 -10	-	LGS表し	-	(C1) 直天井		

内部仕上表(7)		※法規制等の凡例は以下の通り 不:令112条 第9項 第1号等 一:令126条の2 第1項 第1号		三:令126条の2 第1項 第3号 ①:告示1436号 第4項二(1) ②:告示1436号 第4項二(2)		③:告示1436号 第4項二(3) ④:告示1436号 第4項二(4)		※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は構造躯体(増打を除く)レベルを示す。中段は構造躯体レベルが複数ある場合に示す。 ※()内記号は、エレメント図番号を示す。	
階	室名	法規制等	床 レベル 下地 仕上	巾木	壁 下地 仕上	廻縁	天井 下地 仕上	天井高	備考
共通	EPS	②	0 (F3) 防塵塗床 -10	-	(W6) 石膏ボード素地	-	(C1) 直天井		
共通	機械室	②	0 (F3) 防塵塗床 -10	床材立上 150	(W6) 石膏ボードの上 GWボード木目留め	-	(C4) GWボード木目留め		2階AC置場の内部仕上も左記とする。 機械基礎
共通	免震層		0 (F3) Cコテのママ -10	床材立上 150	(W2) Cママ	-	(C2) 断熱材打込み		側溝・防水Mの上ウレタン塗膜防水 マンホール
共通	ELV1~5ピット		-1250 (F3) Cコテの上 -1250 ケイ酸質系塗布防水	-	(W2) Cママ	-	(C1) Cママ		
共通	雨水貯留槽、雨水流出抑制槽、沈砂槽		0 (F3) Cコテの上 -10 ホリマーセメント系塗膜防水 釜場共	-	(W3) C化粧の上 ホリマーセメント系塗膜防水	-	(C1) Cママ		マンホール、タラップ 釜場
共通	汚水槽、非常用排水層		0 (F3) Cコテの上 -10 ホロウ樹脂ライニング工法 釜場共	-	(W3) C化粧の上 ホロウ樹脂ライニング工法	-	(C1) ホロウ樹脂ライニング工法		マンホール、タラップ 釜場
共通	湧水槽		0 (F3) Cコテのママ -10 釜場:防水モルタルt30	-	(W2) Cママ	-	(C1) Cママ		マンホール、タラップ 釜場
2	厨房事務室		0 (F4) ビニル床タイルA -10	PVC 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,600	
-	【新棟棟】								
1	公用車庫	②	0 (F3) Cコテの上 -10 防滑性エポキシ樹脂塗装	-	(W3) C塗装の上SCC	-	(C7) 木毛セメント板打込み EP-G	3,240	白線引き・車止め コーナーガード マンホール
1	ゴミ庫	②	0 (F3) Cコテの上 -10 防滑性エポキシ樹脂塗装	-	(W3) C塗装の上SCC	-	(C7) 木毛セメント板打込み EP-G	3,240	
1	土嚢収納庫	②	0 (F3) Cコテの上 -10 防滑性エポキシ樹脂塗装	-	(W3) C塗装の上SCC	-	(C7) 木毛セメント板打込み EP-G	3,240	
2	会議室E	④	0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,600	
2	執務室E	④	0 (F5) Cコテの上 -10 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,600	
2	休憩・控スペース	④	0 (F4) Cコテの上 -10 タイルカーペットA	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,400	流し台W1200
2	廊下E	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C9) 岩綿吸音板	2,600	
2	更衣室E	④	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W6) 石膏ボードEP	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,400	
2	脱衣室E1.E2	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,400	ユニットシャワー
2	洗濯・乾燥室	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	PVC 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,400	洗濯パン 物干し
2	MWC-EFWC-E	②	0 (F4) Cコテの上 -10 ビニル床シート	SUS 60	(W7) 耐水石膏ボードEP-G	PVC	(C7) 化粧石膏ボード	2,400	鏡:既製品t16 360×1100 手摺
	階段室E	三	0 (F1) 防水モルタル金コテ仕上 -30	-	(W3) C塗装の上DP	-	(C1) C塗装の上DP		地流し、手摺
	防火水槽		0 (F3) Cコテの上 -10 ホリマーセメント系塗膜防水	-	(W2) C化粧の上 ホリマーセメント系塗膜防水	-	(C2) 断熱材打込み		釜場
	配管ピット		0 (F3) Cコテのママ -10 釜場:防水モルタルt30	-	(W2) Cママ	-	(C1) Cママ		マンホール、タラップ 釜場
1	配管・室外機スペース		0 (F1) 防水モルタル金コテ仕上 -30	-	(W3) C塗装の上DP	-	(C1) C塗装の上DP		
2	メンテナンススペース		0 (F1) 防水モルタル金コテ仕上 -30	-	(W3) C塗装の上DP	-	(C1) C塗装の上DP		タラップ(背かご付き) 手摺



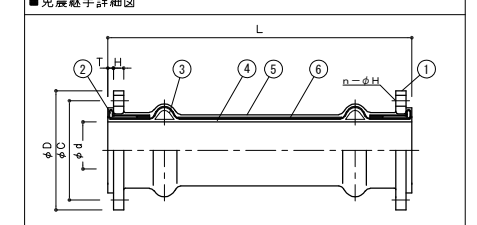
免震階平面図
1FL-1000

凡例

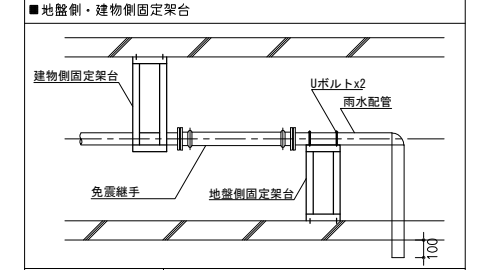
記号	内容
☒	屋内消火栓 (消火器併設型)
☐	消火器ボックス 埋込型
⊙	消火器ボックス 壁掛け型
Ⓜ	鋳鉄製マンホール 600φ (防水・防臭型) (T-6)
EXP.J	金物
SUS	SUSクランプ
SUS	SUS背カゴ付クランプ
機	機械基礎 (寸法は平面詳細図による)
人	人通り 600φ
通	連通管VP 125φ 半割、通気管VP 100φ
釜	釜場 (W1000×D500×H600)
丸	丸環
入	出入口
非	非常用進入口
0.04 1/100	横引き雨水配管SGP (建築工事) 径・勾配は図示による 勾配は特記なき限り1/100とする
床	床点検用ハッチ: ナカ工業ルーフハッチ935角同等品 (屋外階段A・B下部テッドスペース)
▽	構造スリット位置を示す
石	ごろた石敷

■免震継手仕様 単位:mm

呼び径	本体				フランジ			個数
	L	φd	T	H	φD	φC	n-φH	
80A	1000	20	10	14	100	75	4-15	1
200A	1100	200	15	18	330	290	12-23	2
250A	1200	250	15	18	400	355	12-25	3
300A	1200	300	15	20	445	400	16-25	4

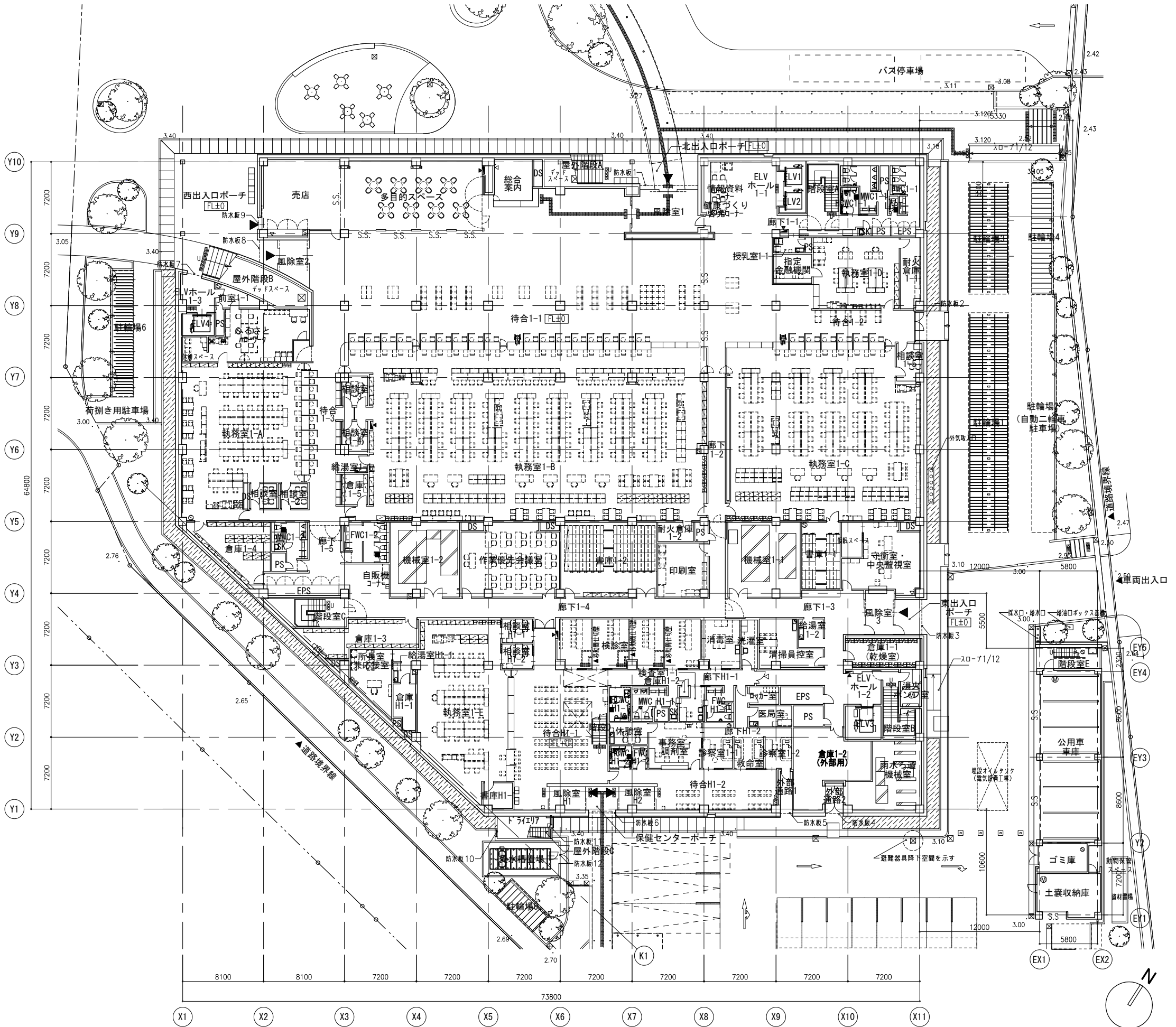


流体	雨水	番号	名称	材質	概要
使用温度	70℃以下	①	フランジ	SS400	Znメッキ
最高使用圧力	0.3MPa	②	補強リソダ	SS400	
使用圧力	雨水	③	埋めゴム	合成ゴム	
試験圧力	0.45MPa	④	内面ゴム	合成ゴム	EPDM(SK10)
免震量	650mm	⑤	外面ゴム	合成ゴム	EPDM(SK10)
フランジ規格	JIS 10kg/cm ² 規格	⑥	補強コード	合成繊維	

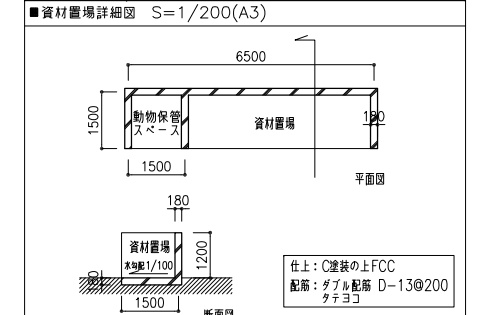


200/250/300A用	St-L-90x90x7 口600xH1500 垂鉛メッキ
80A用	St-L-75x75x6 口500xH1500 垂鉛メッキ

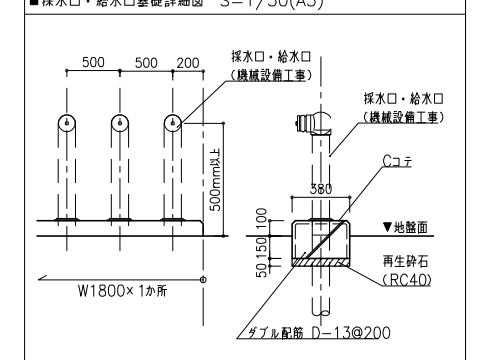
- 特記事項
- ・雨水流出抑制、湧水等の排水ポンプおよび、外構中継材までの放流管は機械設備工事とする。
 - ・免震層における雨水配管は全てSGP管とする。
 - ・ナイフゲート (機械設備工事) は非免震配管に設置する。
 - ・ドワイエリア排水用FDは全て鋳鉄製FD75Aとし下部湧水槽にてVP75Aにて湧水槽へ放流する。
 - ・1階から上階の雨水排水ルートは、平面詳細図による。



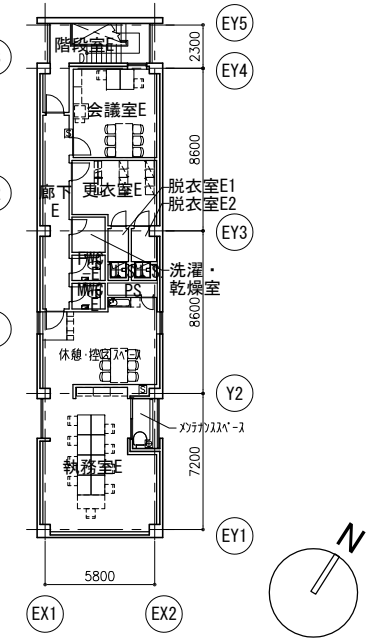
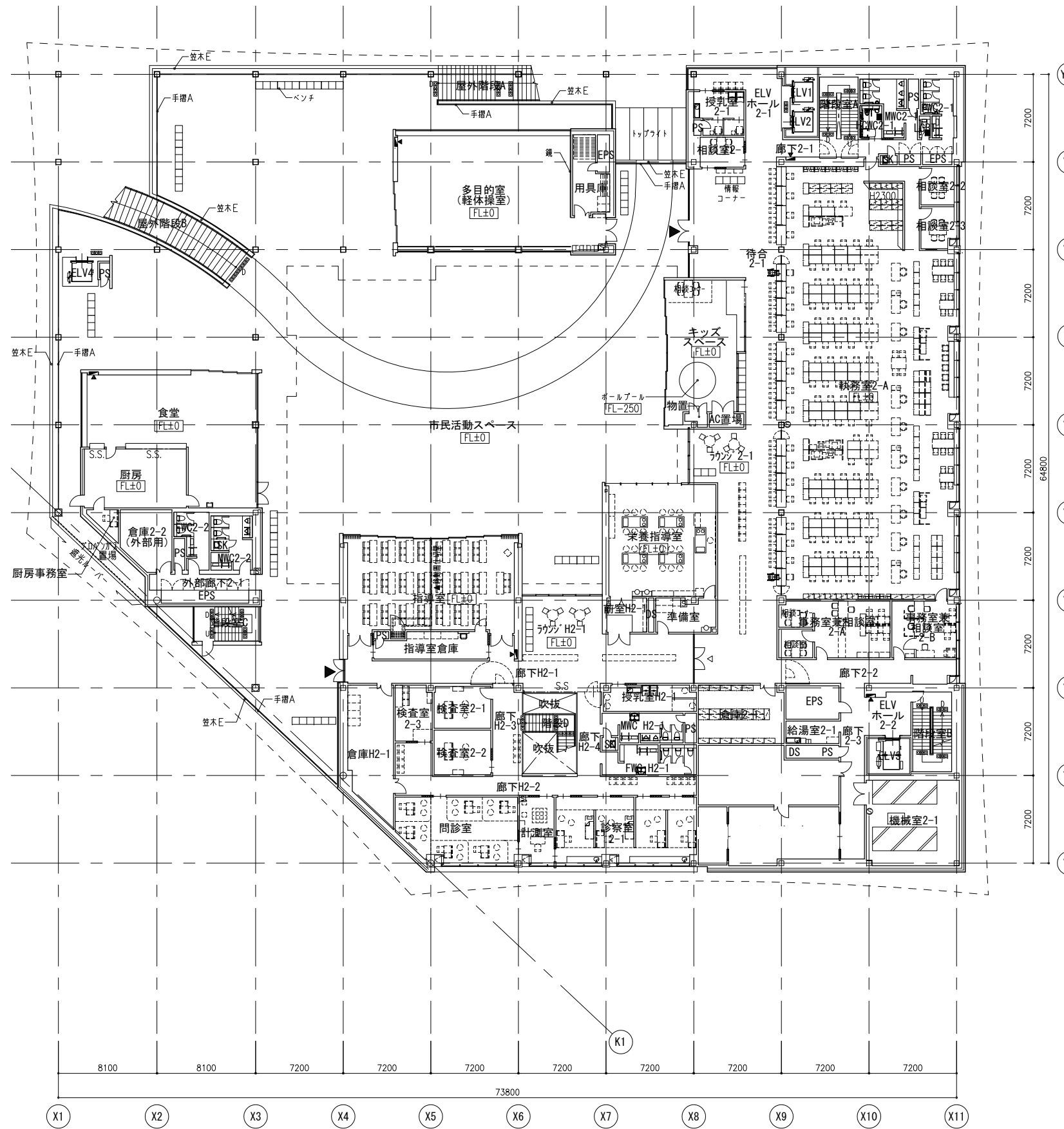
記号	内容
☒	屋内消火栓 (消火器併設型)
☐	消火器ボックス 埋込型
⊕	消火器ボックス 壁掛け型
Ⓜ	鋳鉄製マンホール 600φ (防水・防臭型) (T-6)
EXP.J	金物
SUS	SUSクランプ
SUS	SUS背カゴ付クランプ
⊠	機械基礎 (寸法は平面詳細図による)
⊕	人通り 600φ
⊕	連通管VP 125φ 半割、通気管VP 100φ
⊠	釜場 (W1000×D500×H600)
⊕	丸環
⬇	出入口
⬆	非常用出入口
⊕	横引き雨水配管SGP (建築工事) 径・勾配は図示による 勾配は特記なき限り1/100とする
⊠	床点検用ハッチ: ナカ工業ルーフハッチ935角同等品 (屋外階段A・B下部デッキスペース)
▽	構造スリット位置を示す
⊠	ごろた石敷



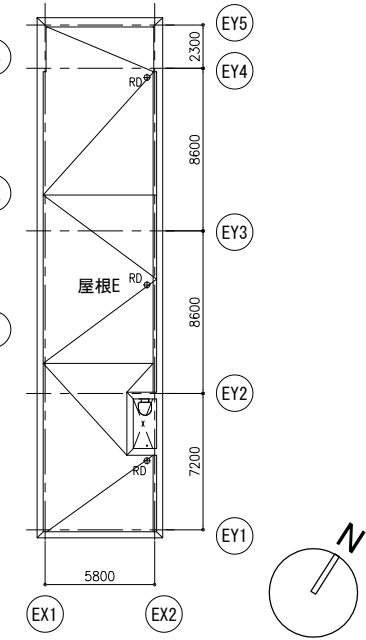
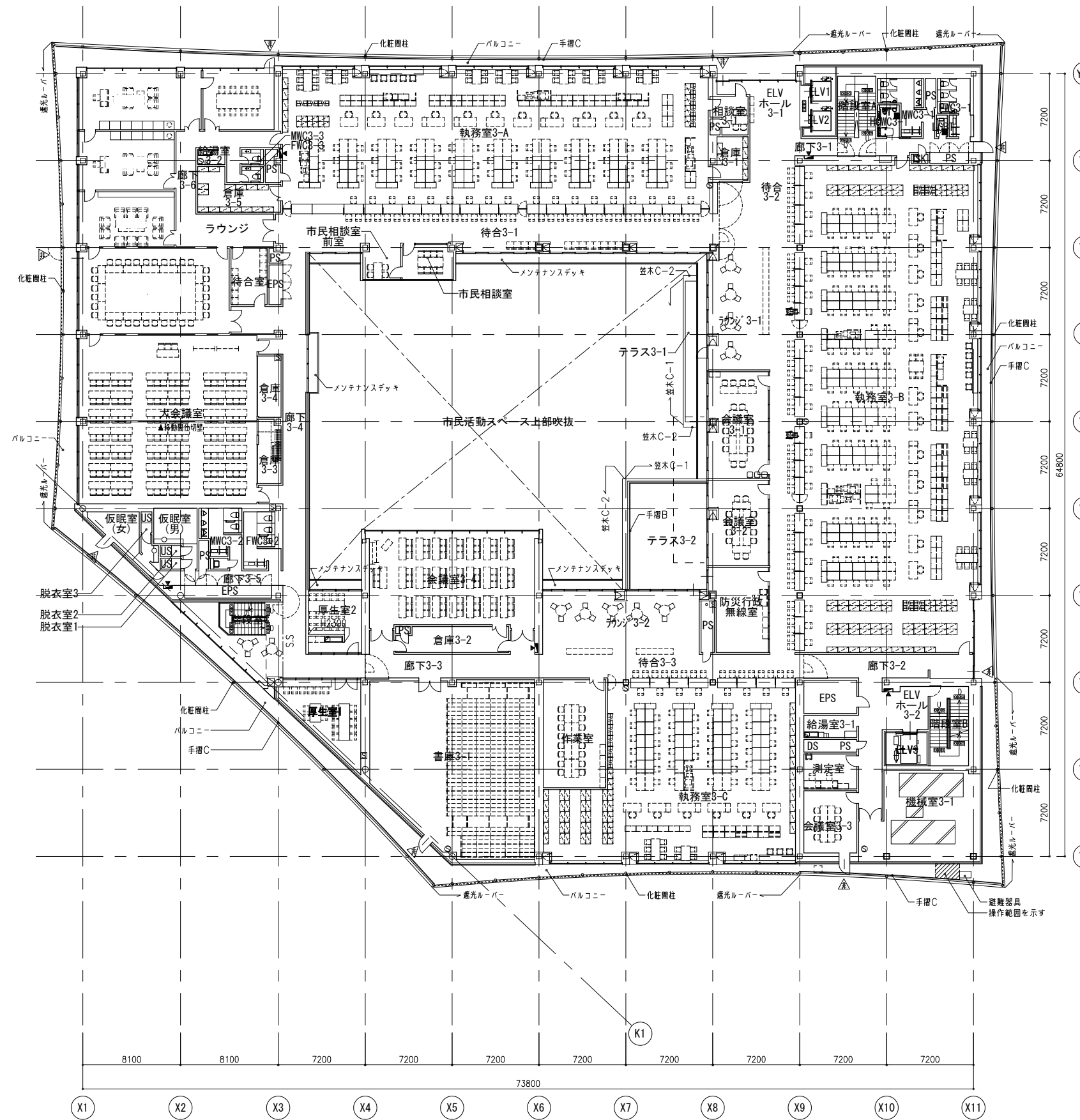
■給油口ボックス基礎概要
 D500 x W700 x H800
 仕上: コンクリート押入
 配筋: ダブル配筋 D-13@200 ケテヨコタカ



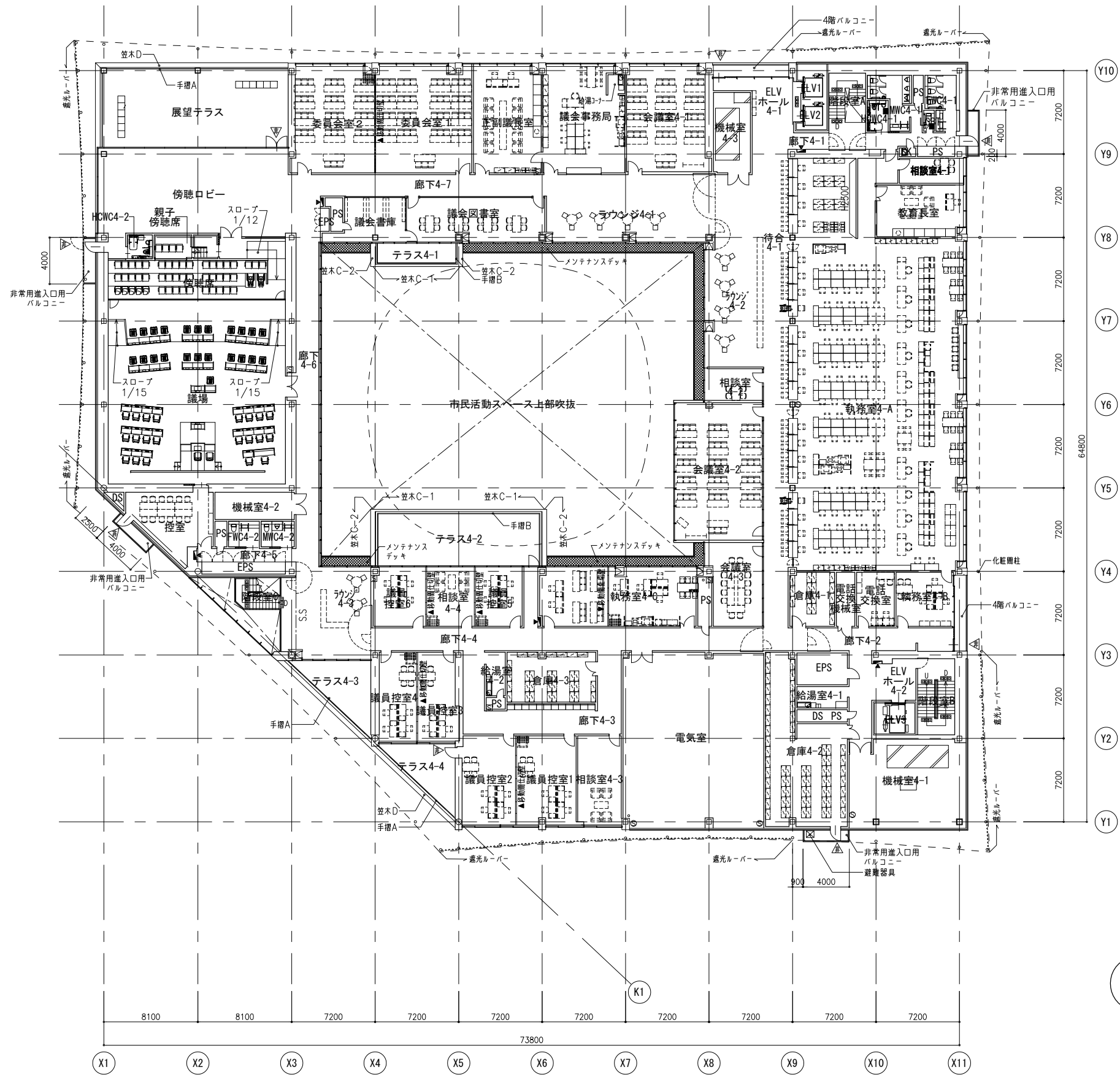
- 備考
- ・KBM: TP=2.813とする。
 - ・設計GL: TP=3.400とする。
 - ・1FL: TP=3.500とする。
 - ・[FL±0.0]はFLからの仕上高さを示す。
 - ・0.000はTPを示す。
 - ・ハト小屋天端レベルは、PHFL+1200mmとする。
 - ・1階外壁の開口部は平面詳細図を参照すること。
 - ・1階から上階の雨水排水ルートは、平面詳細図による。
 - ・新東棟の雨水排水ルートは、新東棟 平・立・断面図を参照すること。



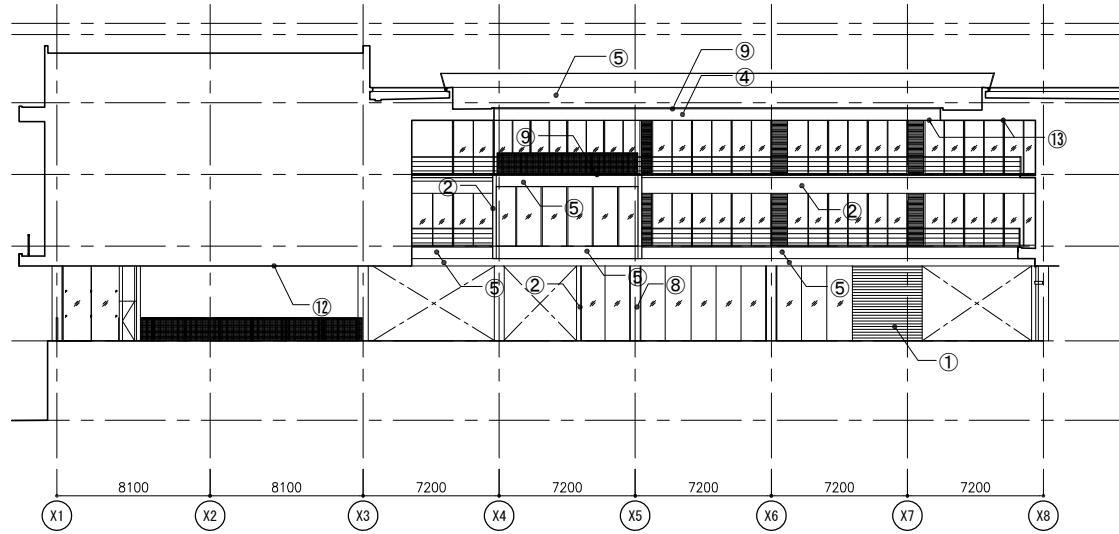
凡例	記号	内容
	☒	屋内消火栓 (消火器併設型)
	☐	消火器ボックス 埋込型
	⊙	消火器ボックス 壁掛け型
	Ⓜ	鋳鉄製マンホール 600φ (防水・防臭型) (T-6)
	EXP.J	金物
	SUS	SUSクランプ
	SUS	SUS背カゴ付クランプ
	〇	機械基礎 (寸法は平面詳細図による)
	⊘	人通り 600φ
	⊘	連通管VP 125φ 半割、通気管VP 100φ
	⊠	釜場 (W1000×D500×H600)
	⊙	丸環
	▲	出入口
	▼	非常用進入口
	〇φ 1/100	横引き雨水配管SGP (建築工事) 径・勾配は図示による 勾配は特記なき限り1/100とする
	⊠	床点検用ハッチ: ナカ工業ルーフハッチ935角同等品 (屋外階段A・B下部デッキスペース)
	▽	構造スリット位置を示す
	〇	ごろた石敷
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・KBM: TP=2.813とする。 ・設計GL: TP=3.400とする。 ・1FL: TP=3.500とする。 ・[FL±0.0]はFLからの仕上高さを示す。 ・0.000はTPを示す。 ・ハト小屋天端レベルは、PHFL+1200mmとする。 ・1階外壁の開口部は平面詳細図を参照すること。 ・1階から上階の雨水排水ルートは、平面詳細図による。 ・新東線の雨水排水ルートは、新東線 平・立・断面図を参照すること。



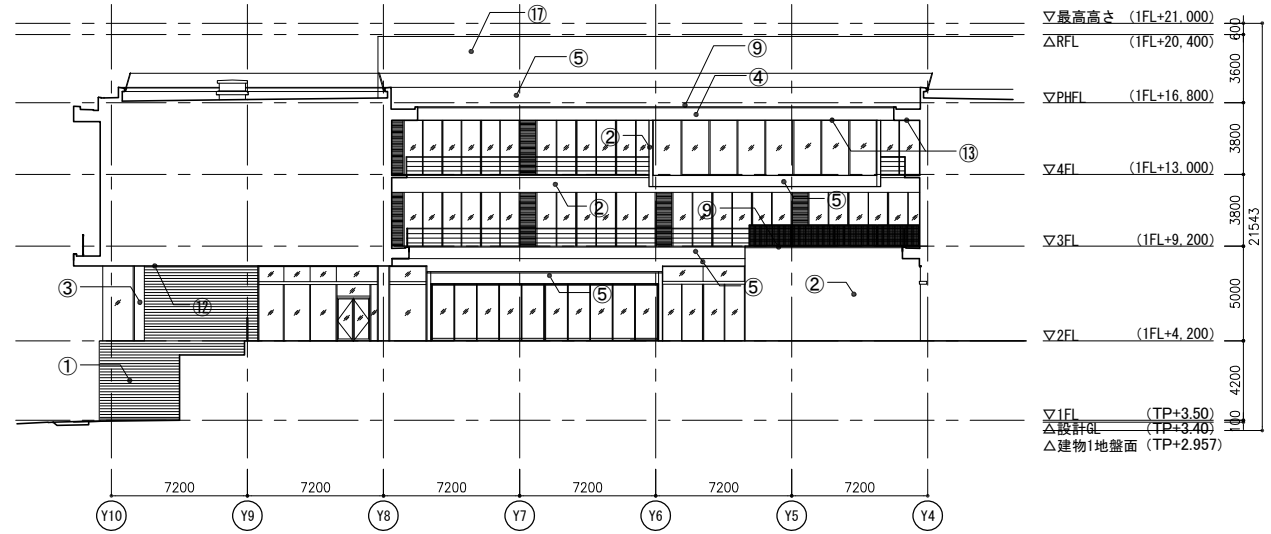
記号	内容
	屋内消火栓 (消火器併設型)
	消火器ボックス 埋込型
	消火器ボックス 壁掛け型
	鑄鉄製マンホール 600φ (防水・防臭型) (T-6)
	EXP.J 全物
	SUSクランプ
	SUS背カゴ付クランプ
	機械基礎 (寸法は平面詳細図による)
	人通り 600φ
	連通管VP 125φ 半割、通気管VP 100φ
	釜場 (W1000×D500×H600)
	丸環
	出入口
	非常用進入口
	横引き雨水配管SCP (建築工事) 径・勾配は図示による 勾配は特記なき限り1/100とする
	床点検用ハッチ: ナカ工業ルーフハッチ935角同等品 (屋外階段A・B下部デッドスペース)
	構造スリット位置を示す
	ごろた石敷
備考	
・ KBM: TP=2.813とする。	
・ 設計GL: TP=3.400とする。	
・ 1FL: TP=3.500とする。	
・ [FL±0.0]はFLからの仕上高さを示す。	
・ 0.000はTPを示す。	
・ ハト小屋天端レベルは、PHFL+1200mmとする。	
・ 1階外壁の開口部は平面詳細図を参照すること。	
・ 1階から上階の雨水排水ルートは、平面詳細図による。	
・ 新東線の雨水排水ルートは、新東線 平・立・断面図を参照すること。	



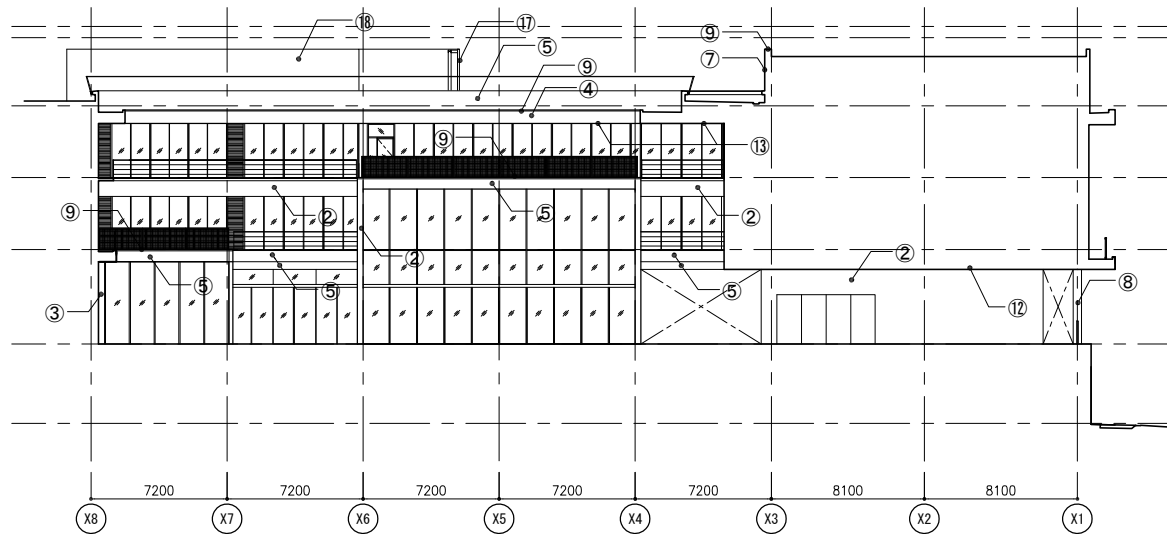
記号	内容
	屋内消火栓 (消火器併設型)
	消火器ボックス 埋込型
	消火器ボックス 壁掛け型
	鑄鉄製マンホール 600φ (防水・防臭型) (T-6)
	EXP.J 全物
	SUSクランプ
	SUS背カゴ付クランプ
	機械基礎 (寸法は平面詳細図による)
	人通り 600φ
	連通管VP 125φ 半割、通気管VP 100φ
	釜場 (W1000×D500×H600)
	丸環
	出入口
	非常用出入口
	横引き雨水配管SGP (建築工事) 径・勾配は図示による 勾配は特記なき限り1/100とする
	床点検用ハッチ: ナカ工業ルーフハッチ935角同等品 (屋外階段A・B下部デッキスペース)
	構造スリット位置を示す
	ごろた石敷
備考	
・ KBM: TP=2.813とする。	
・ 設計GL: TP=3.400とする。	
・ 1FL: TP=3.500とする。	
・ [FL±0.0]はFLからの仕上高さを示す。	
・ 0.000はTPを示す。	
・ ハト小屋天端レベルは、PHFL+1200mmとする。	
・ 1階外壁の開口部は平面詳細図を参照すること。	
・ 1階から上階の雨水排水ルートは、平面詳細図による。	
・ 新東線の雨水排水ルートは、新東線 平・立・断面図を参照すること。	



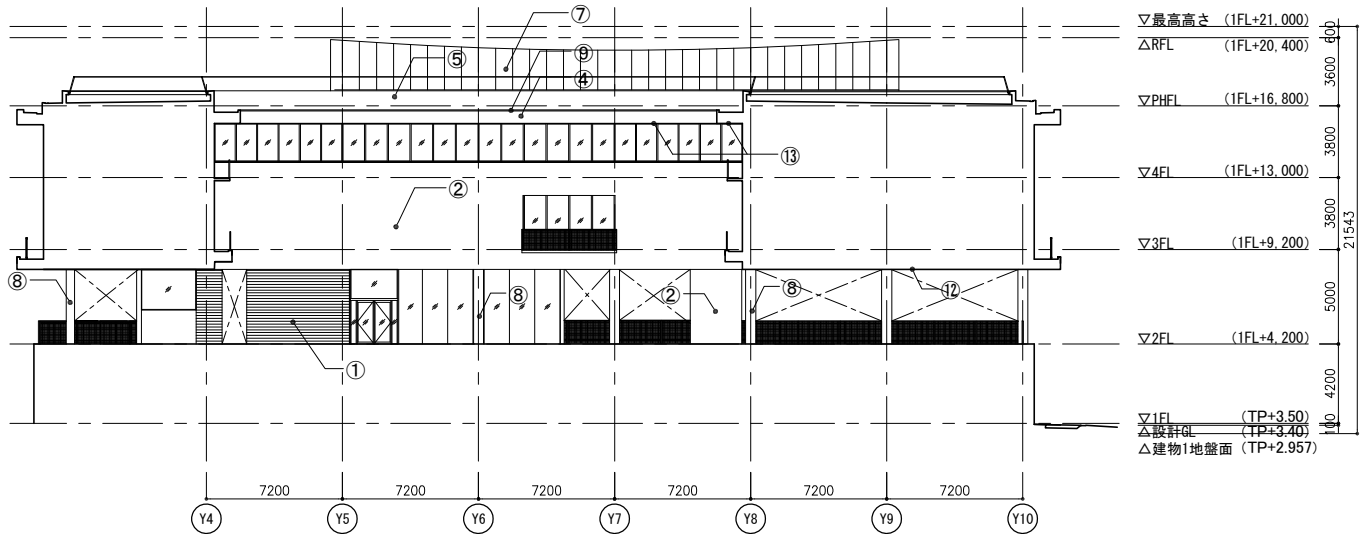
市民活動スペース A面立面図



市民活動スペース B面立面図

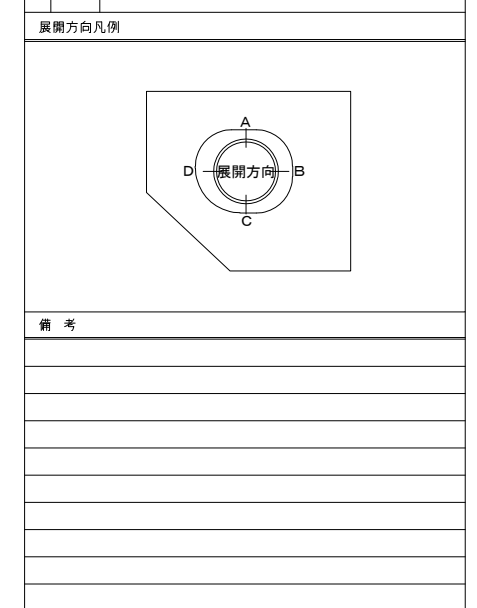


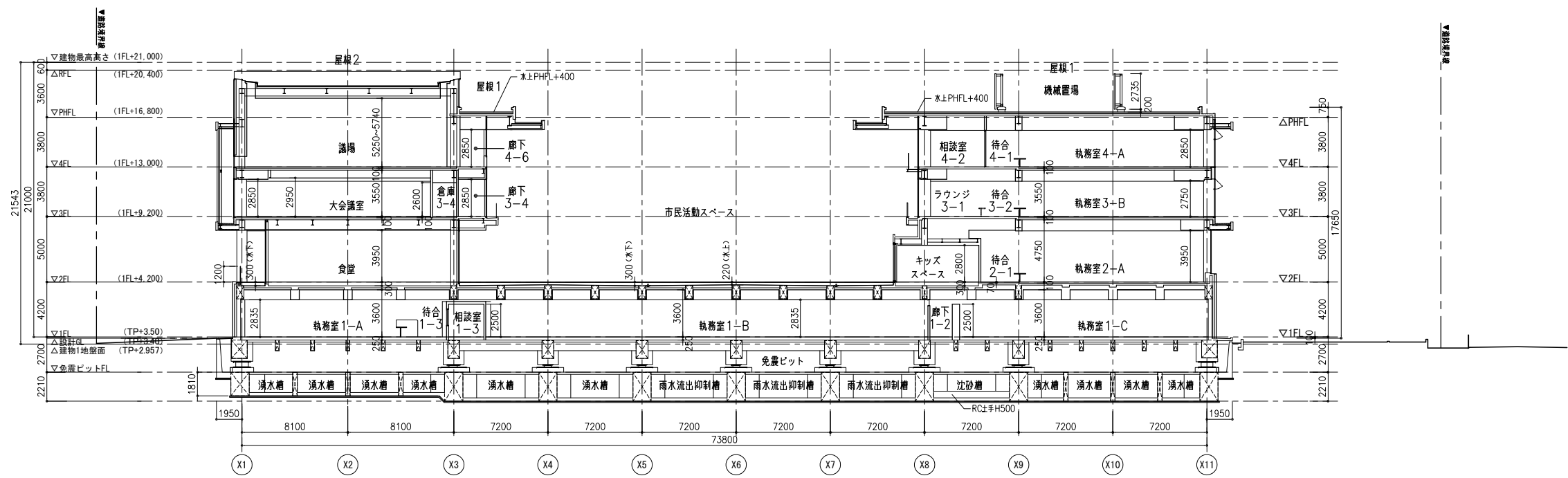
市民活動スペース C面立面図



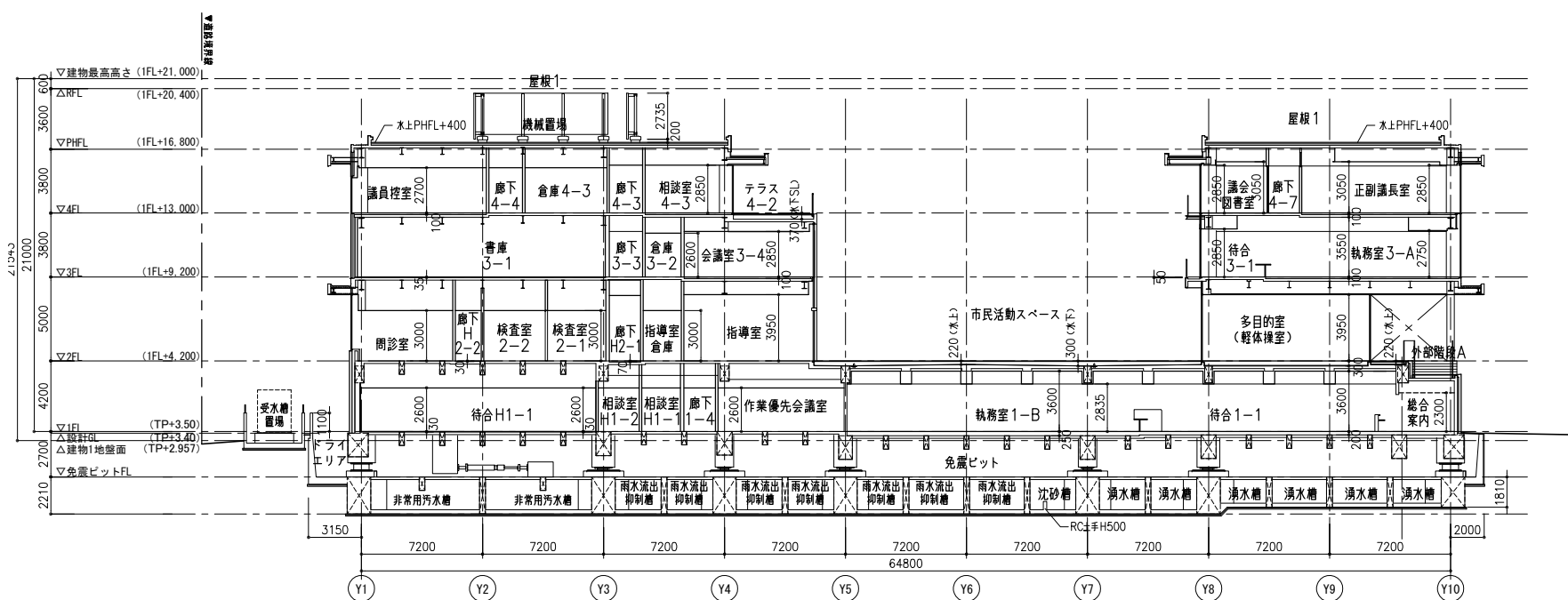
市民活動スペース D面立面図

凡例	
記号	仕上
①	外壁 化粧コンクリートブロック積み 浸透性保護塗装塗布
②	外壁 軽量気泡コンクリート版t100の上外断熱EPSボード
③	外壁 アルミパネル
④	外壁 PC版 浸透性保護塗装塗布
⑤	外壁 外装薄塗材E
⑥	外壁 遮光ルーバー
⑦	外壁 軽量気泡コンクリート版t100の上アルミカットパネル
⑧	柱型 耐火塗装の上アルミカットパネルFEB
⑨	柱木 アルミ製既製品 BA-1種
⑩	柱木 アルミパネル曲げ加工 FEB
⑪	水切 アルミパネル曲げ加工 FEB
⑫	軒天 杉小幅板目透し張
⑬	軒天 ケイ酸カルシウム版の上外断熱EPSボード
⑭	軒天 アルミ製ルーバー
⑮	その他 フロア見切パネル
⑯	その他 化粧間柱
⑰	その他 太陽電池一体型目隠しルーバー (電気設備工事)
⑱	その他 有孔溝型鋼板
⑲	その他 犬走り側面: C化粧の上FCC

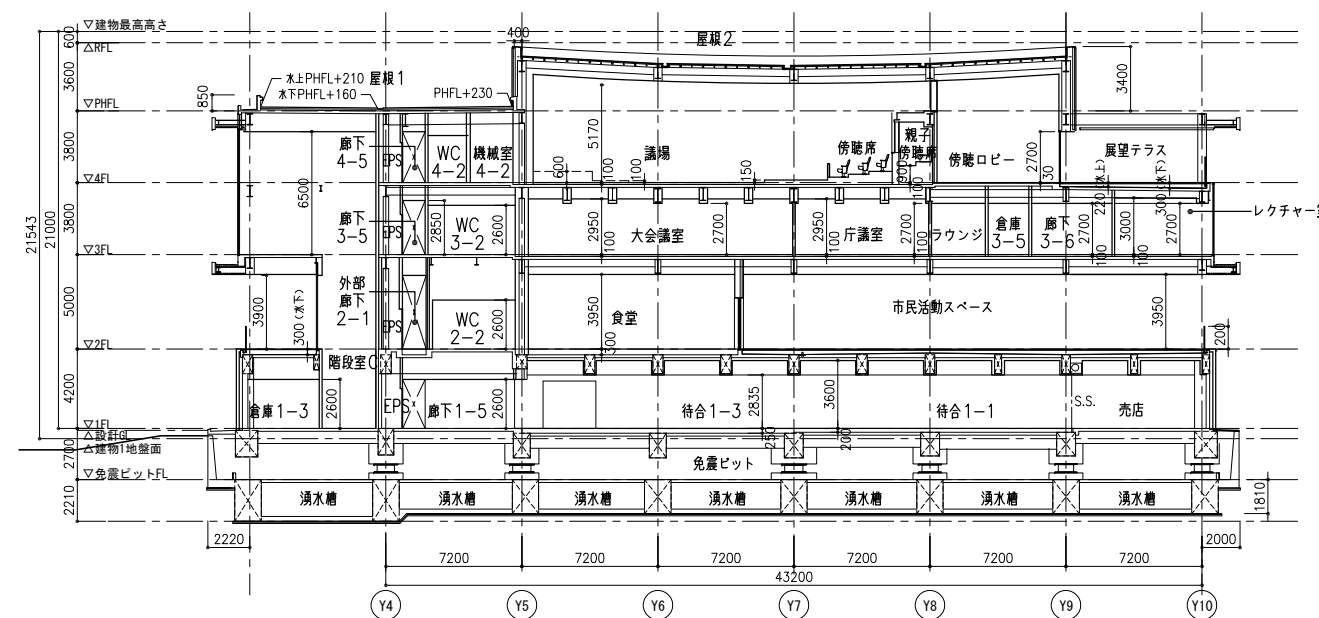




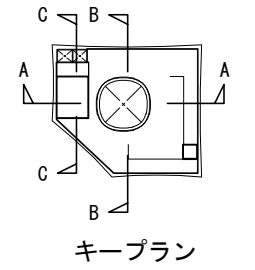
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



キープラン